

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス長府教室		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 5日		～ R6年 12月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 4日		～ R7年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境 ・事業所移転後は死角の少ない広々としたスペースがあり、個々の取り組みに集中できる個室の環境が整備されていること ・マット、トランポリン、鉄棒、ボールなどの運動器具がそろっている	・目的に応じて、部屋の使い分けをしている ・児童発達支援は、個別または小集団での療育を行っており、個々のニーズに応じた細やかな支援を心掛けている	・個々のニーズにお応えするためにも、個別や小集団での活動の充実をより一層図っていく
2	活動内容の充実 ・活動内容が豊富で、プログラムが固定化されていないこと ・ハッピーテラス本部が提供している活動例がある ・保育経験豊富なスタッフが在籍しているため、子どもの発達状況に応じて内容を決定している	・毎回振り返りを基に次の支援内容を決定し、発達状況に応じた支援を行っている ・子どもが“今興味をもっているもの”を通して支援を行っている	・事業所内の活動だけでなく、戸外活動の機会を増やし、体験からの学びを促していく
3	対応 ・事業所全体で同じ対応をすることや意識の共有ができるマニュアルがある ・面談の機会が充実している	・子どもの様子を送迎時や面談の際に詳しく伝えている ・面談時には必ずニーズの聞き取りをしている ・相談支援専門員の方と情報共有を密にしている ・契約時には保護者の方に細やかに丁寧な説明を心掛けている	・幅広く、関係機関との情報共有を充実させる ・保護者見学等を行っている旨の周知をする ・活動内容の報告(写真付きお便り)の頻度を増やす

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族支援が手紙配布と面談時の助言のみとなっていた	・家族支援の方法について職員間でしっかりと議論ができていなかった	・気軽に悩み等が相談ができる機会を作る ・面談の機会に、保護者の方へ向けた支援も意識的に行う ・保護者向け講演会の実施をする
2	・マニュアルの周知ができていない	・マニュアルは作成されており、事業所内での共有はできているが、保護者へ向けた周知が不十分だった	・契約時にマニュアルの周知、訓練や研修の実施報告を行う
3	・児童クラブや、地域の学校・幼稚園・保育園等との交流の機会がない	・今年度は新規開所のため、事業所内の行事の充実に力を入れていた ・担当者会議が受け身になっており、事業所発信の連携ができていない	・保護者の方の意見を踏まえたうえで、地域の行事に参加したり、事業所の行事に地域の子どもたちを招待するなどの企画を考える ・保護者の同意の下、情報提供や相互に見学の機会を作る ・必要に応じて担当者会議を開く等、関係機関連携の強化を図る